

六月鹿ノ台教室誌上句会 優秀句

お題「我慢」(連記) 坪田登美選

やせ我慢我慢してると痩せるのか
我慢して続けているが効き目ない
自分とはえらいと思い我慢する
こらえてた昼の我慢がでる寝言
あとわずか我慢するのはもうやめや
気が付けば我慢は無二の友となる
旅雑誌机上プランで我慢する

徳川の遺訓私に重すぎて

シングルマザー大人の都合パパイない
我慢限界子のわがままと夫のクセ
表向き仲良くがまん嫁姑

忍耐も慣れればとてかきつばた
よく耐えた妻子抱えてヒラ暮らし
認めあい我慢したから半世紀
愛よりも我慢でふたり添いとげる
秀 耐え忍び苔に咲く花朝ぼらけ
軸 マスク着けどう乗り切るかこの夏は

お題「だから」橘 正清選

先見えぬ好きなヘッセの詩を詠う
予定ないだからといって暇でない
しかじかとだからで終わる妻のグチ
食い意地がいつも邪魔するダイエット
どっちもどっちだからを繰り返す
政治家はだからの後は秘書まかせ
忠告を無視の若者コロナ病
解説者だからをやたら口にする
横柄な性格なのでだからもう
反抗期だからだからと十五歳
薬剤師効きめ同じとジェネリック
秀 あやしげな電話とことんしゃべらせる
軸 ご法話にだからが続きもう一つ

お題「盗む」播本英二選

盗塁で点を入れても勝ちば勝ち
強盗を詐欺師に変えたキャッシュレス
ちやつかりと盗まれていたパスワード
失せ物は盗られたかもと納得し
親の目盗み良くも悪くも子が自立
何もなし盗まれることないように
花盗人は罪にならぬと祖母の言う

ミノル
えいじ
宏 樹
アキラ
英 二
広 子
よう子
充
乃り子
春 代
幸 男
ちさと
千 楽
哲 子
義 雄
正 清
登 美
哲 子
えいじ
ちさと
広 子
義 雄
アキラ
登 美
幸 男
ちさと
乃り子
幸 男
よう子
正 清
登 美
アキラ
えいじ
ミノル
義 雄
充
春 代

盗ませて貰った芸を盗ませる

あなたから盗んだものは手に余る
お駄賃をくすねた菓子のはろ苦さ

花嫁に自慢の息子うばわれる

秀 盗まれた普通の日々が戻らない

軸 麻雀に時間も金も盗まれた

自由吟(共選) 勝部乃り子選

娘の結婚何より重い世間体

送料が勝る子等へのゆうパック

ワクチン接種済んでニュースを観なくなり

風水が示すいい場所お仏壇

そのけとチャイナが通る宇宙でも

子育ては鬼と仏の両天秤

あいまいのまま放り出す初夏のうつ

化粧して自分をうまく消せる人

ちやぶ台がなくてうろうろする親父

会えないがいつでも行ける距離にいる

眠いとき眠れることのありがたさ

秀 補聴器をつけど聞こえぬ天の声

軸 スープ冷めないこの選択がミスチョイス

自由吟(共選) 奥村義雄選

摘んでくれ松のみどりが首もたげ

梅雨空はがまんしきれず泣き出した

マスク無し全てフリーの旅したい

終活が今日も終わらず生きのびる

そのけとチャイナが通る宇宙でも

夢の中亡き夫探し知らぬ町

補聴器をつけど聞こえぬ天の声

眠いとき眠れることのありがたさ

子育ては鬼と仏の両天秤

化粧して自分をうまく消せる人

手ごわさに作り笑顔がとけてゆく

秀 スープ冷めないこの選択がミスチョイス

軸 この人にシヨパンは無理と知るいびき

義 雄
哲 子
広 子
よう子
乃り子
英 二
哲 子
広 子
英 二
ちさと
千 楽
登 美
正 清
アキラ
正 清
宏 樹
よう子
乃り子
春 代
よう子
宏 樹
登 美
アキラ
ちさと
義 雄

七月誌上句会 投句ベ七月十日 各二句

「義理」(連記) 山神春代選

「憎い」五十嵐千楽選 「通す」阿部俊八選

自由吟(共選) 森里えいじ選 澤山よう子選

*メール又は封書 アキラ迄

*七月も誌上句会にいたします。